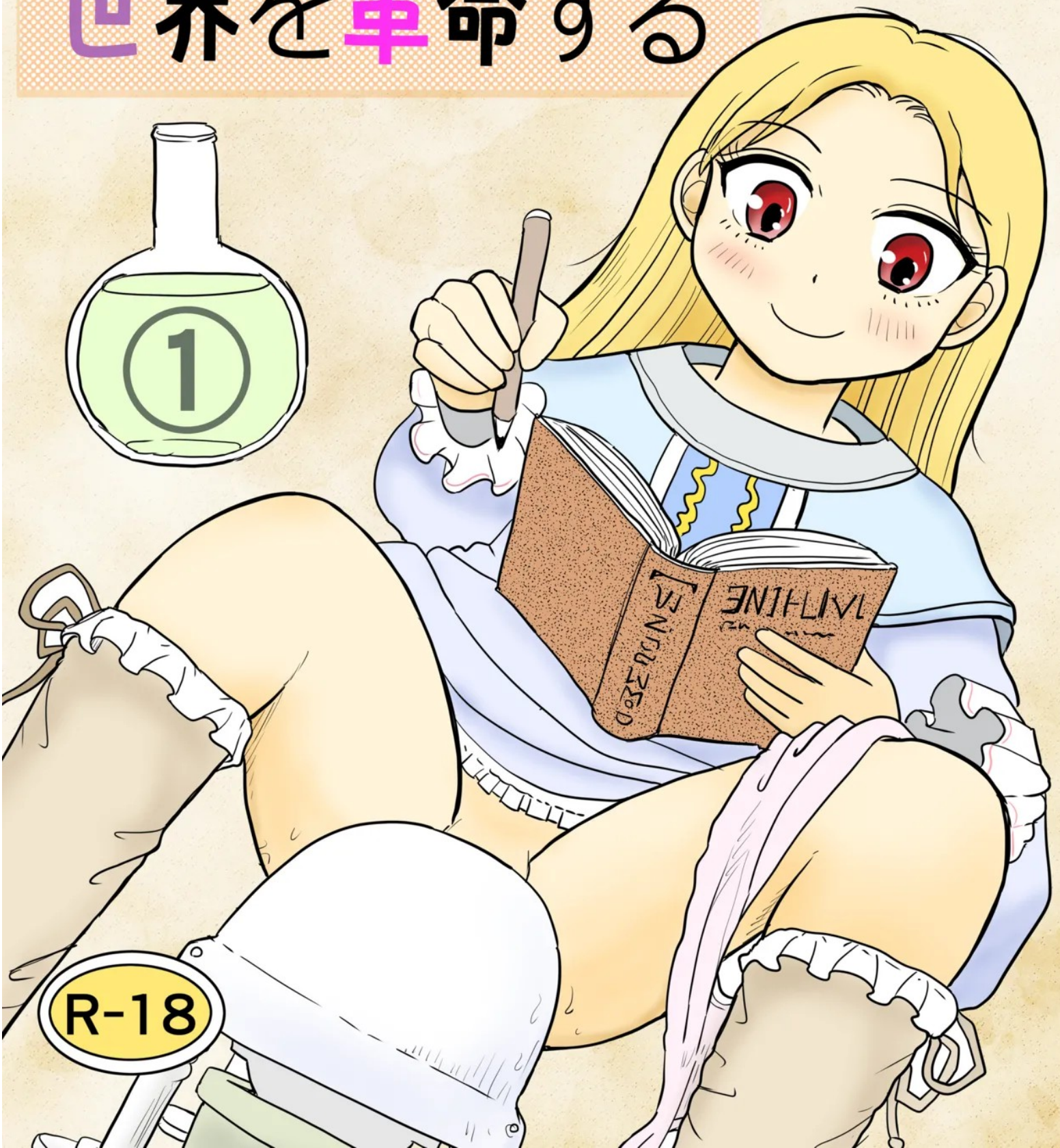
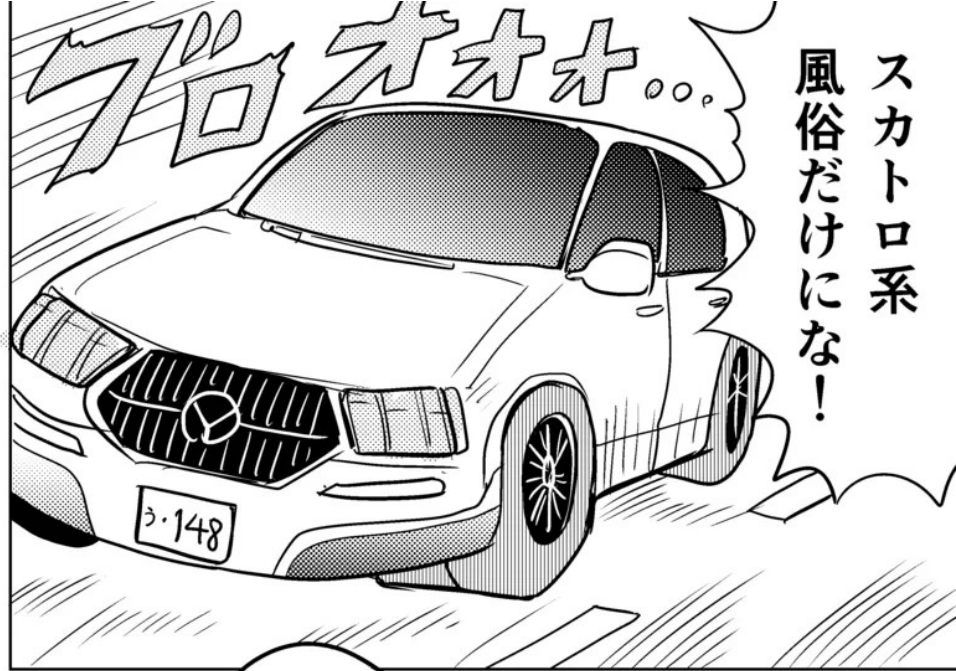


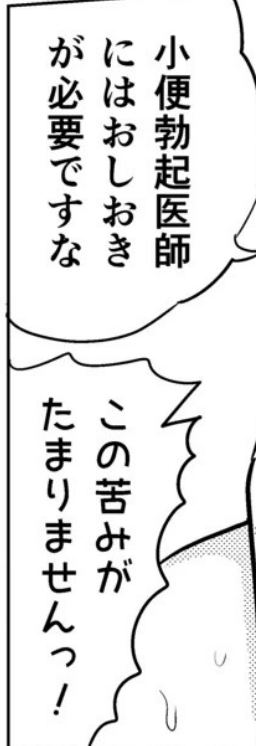
TS聖女ちゃんは
おしっこで
世界を革命する



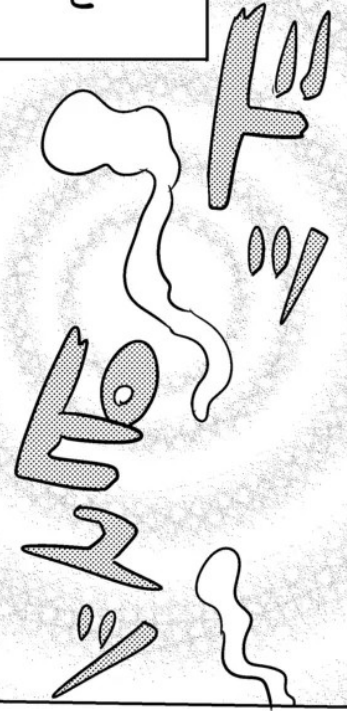
R-18







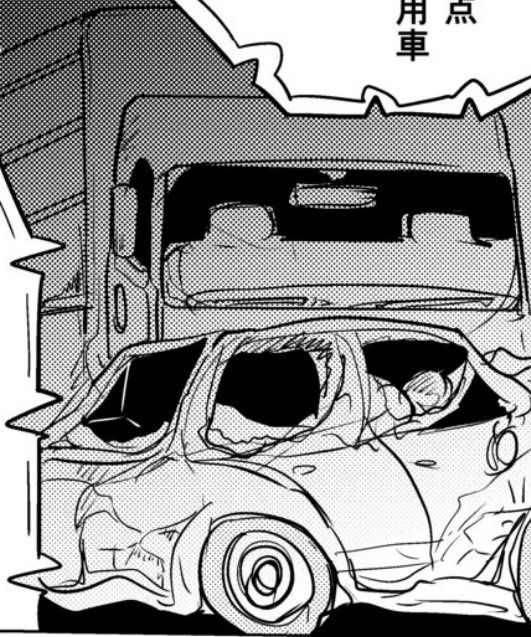
これが人生で
最後の「射精」と
なることを…



現在北麻布5交差点
大型トラックと乗用車
えいベンツです
人身交通事故発生
運転手1名
車内閉じ込め中

ざわ…
ざわ…

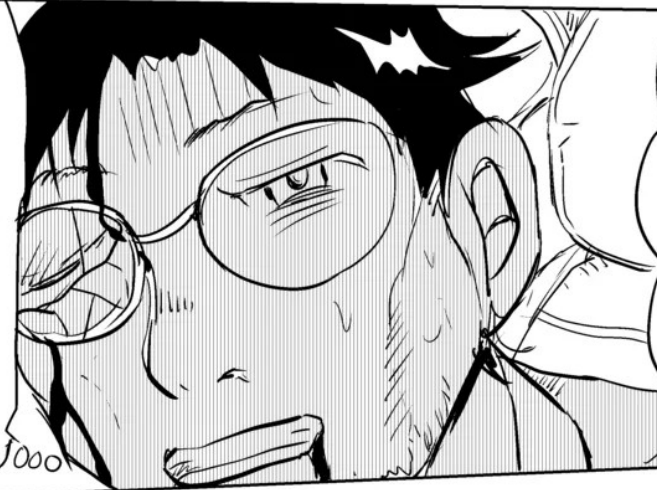
本部了解…ええ
301と付近のPMは
北麻布5へ急行せよ



あんだよお!
オレはあ酔っぱらって
ねえっていつてんだろ

ハイハイ
運転手さん
落ち着いてね
いったんパトカーに
行こうか

……身体が動かない
……なんだどうしたんだ…?



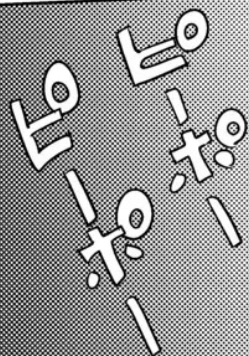
いつて…ぐっ…!
肋骨…イってるな
息が…できん…

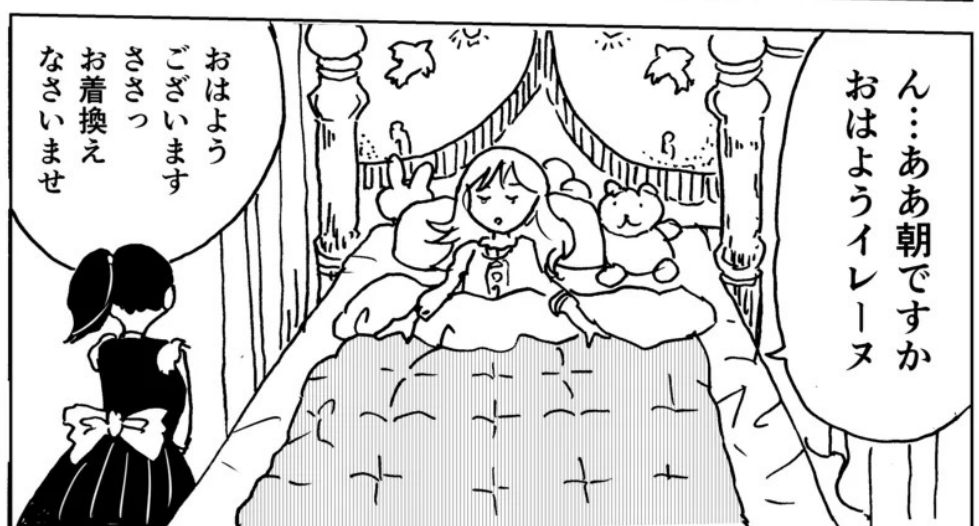
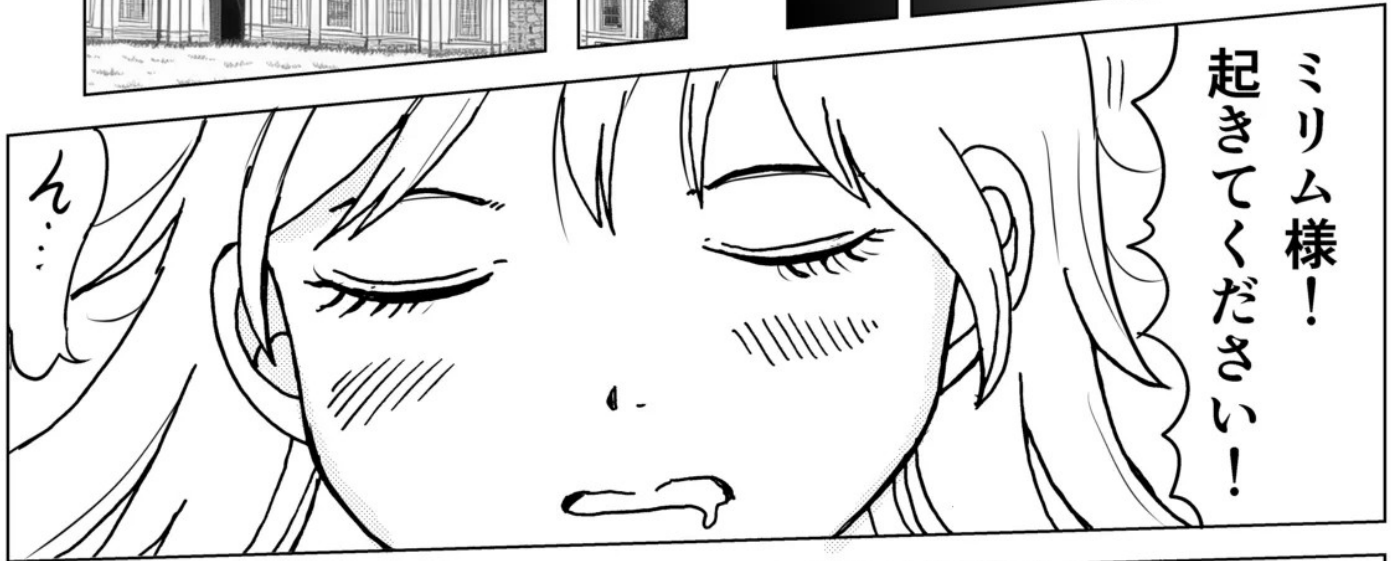
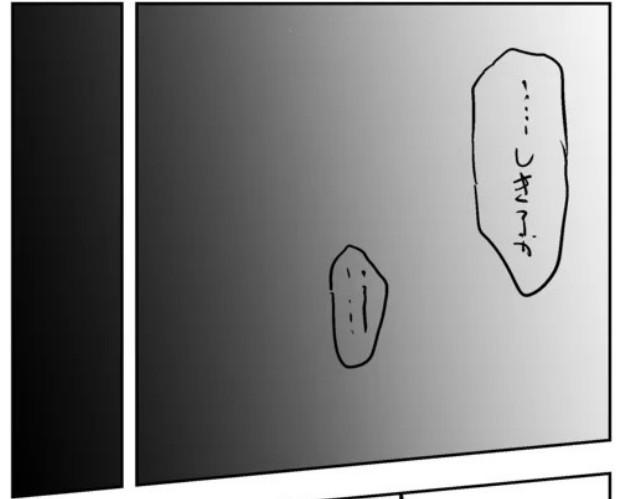
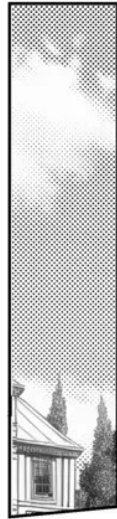
これは…胸腔内に血が
心タンポナーデか…

え…?
ウソだろ…

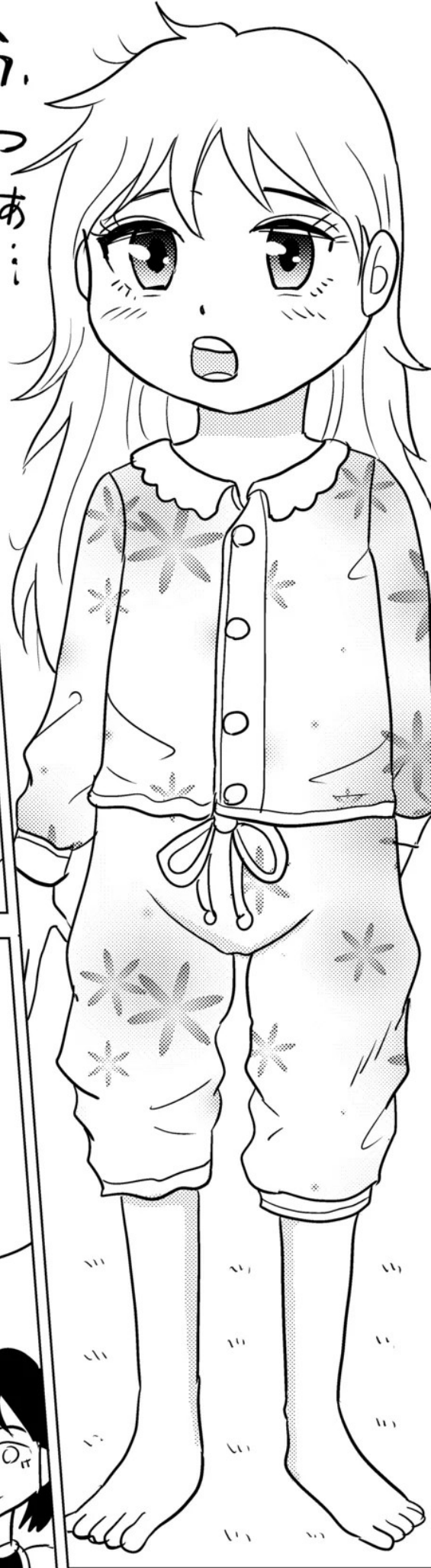
こんなあっさり…
人生…終了かよ…

ああ…さゆ姫に
黄金…もらった…に…





ふわあ……



わたしの名前は
ミリム・ブルーレット
エリエール王国の伯爵令嬢だ

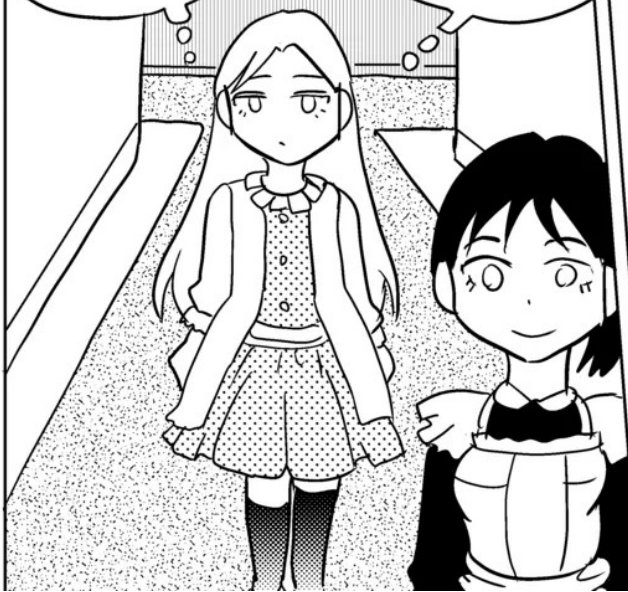
今日は子ども達の
将来のジョブが
占われるという
透視神託の儀の日

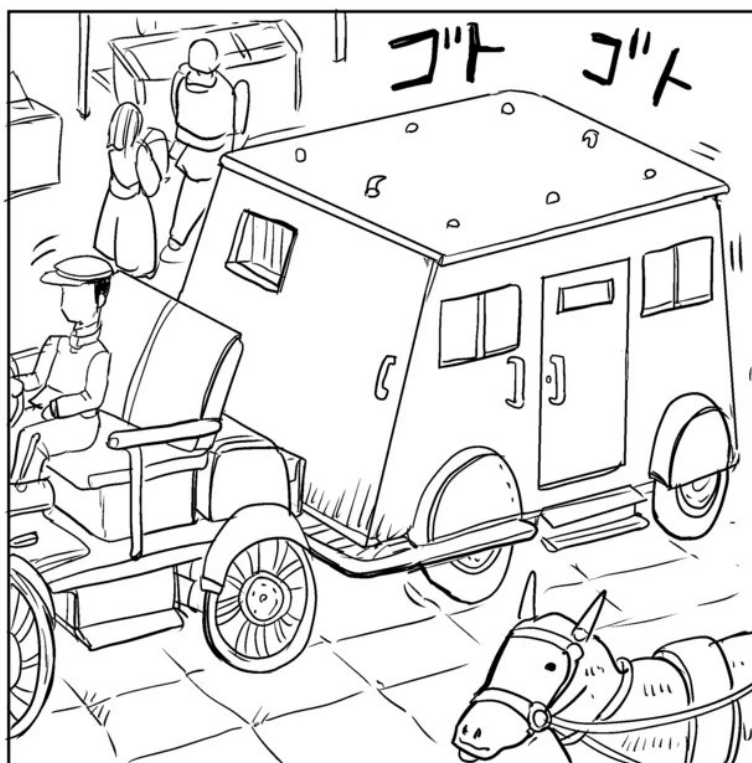
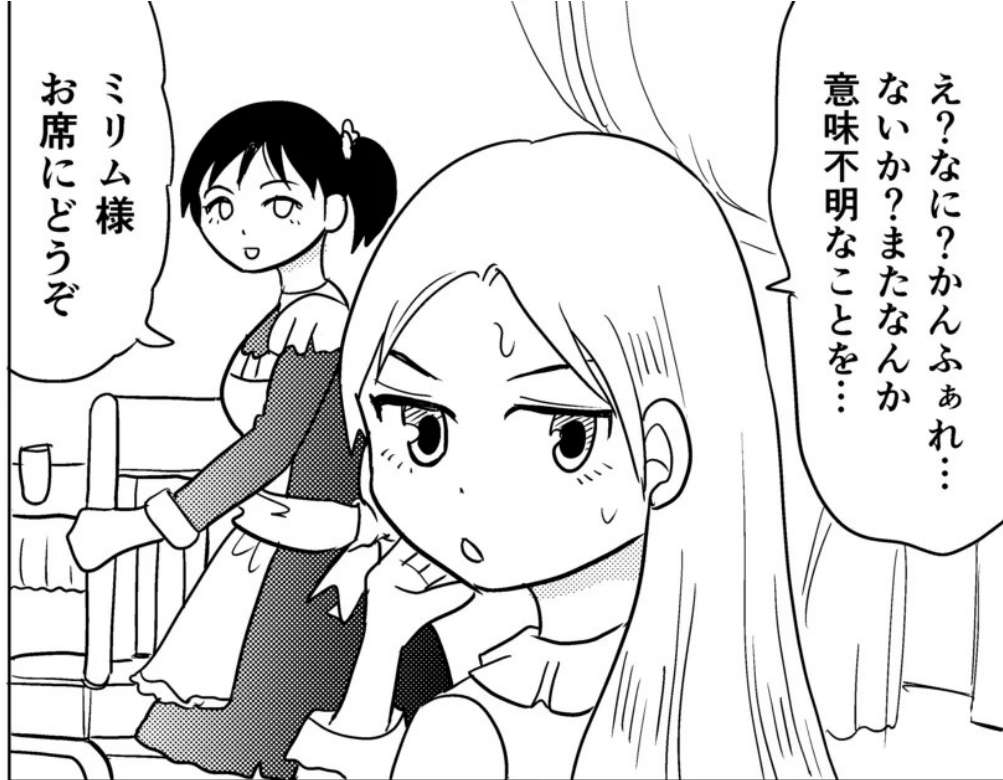
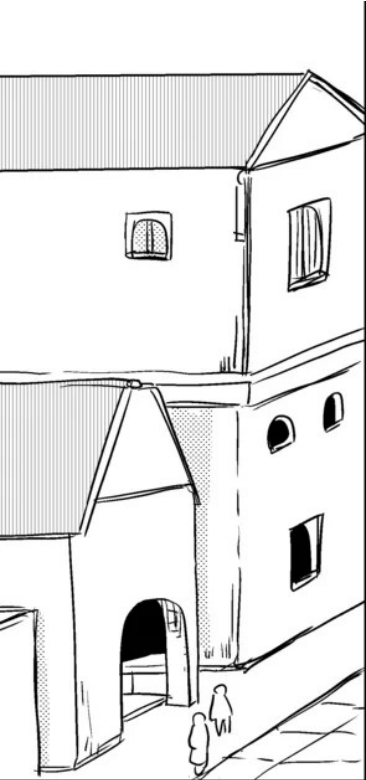


自分に向いている仕事か……
いったいなんだろう？
……なんとなくだが医者に
向いてそうな気がする

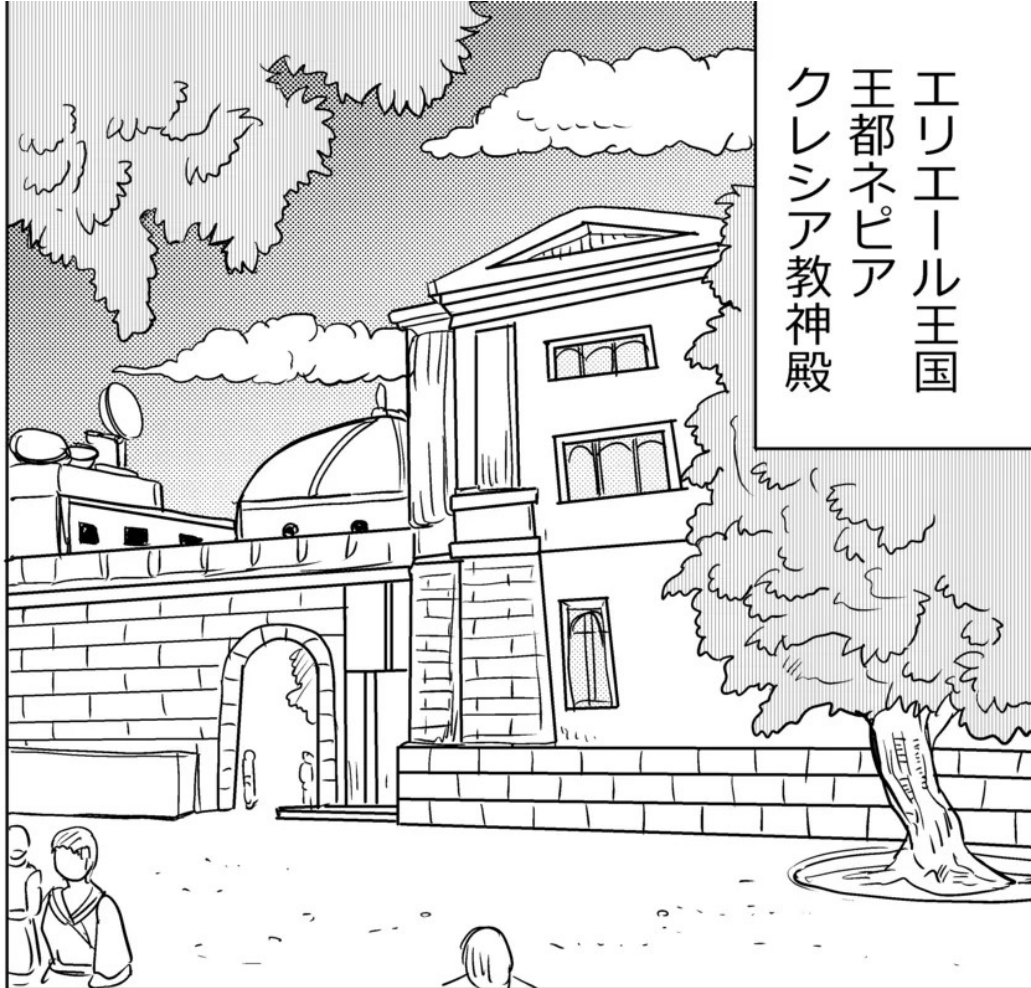
あ……そろそろ
カンファレンスの時間だ
うーん303の田中さん
どうするかな……

できればまだ
内科での経過観察で
抑えたいんだが……
西本先生はすぐ切り
たがるからなあ……





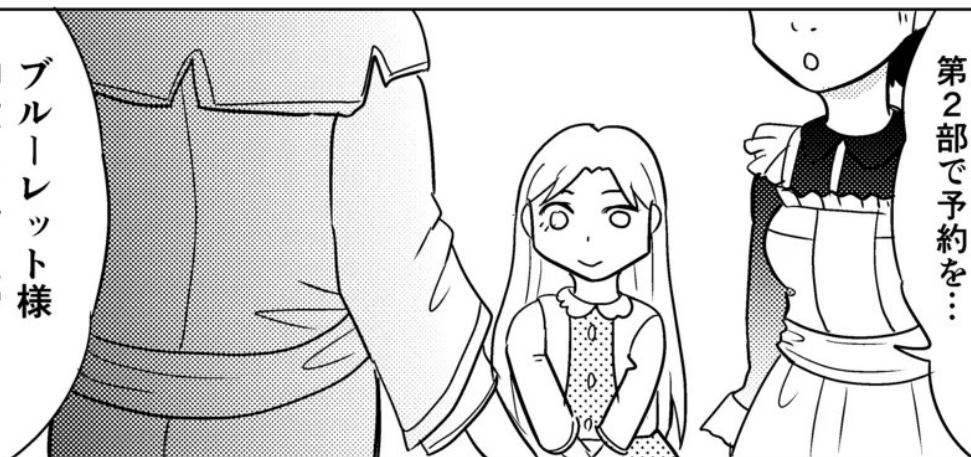
エリエール王国
王都ネピア
クレシア教神殿



ようこそ
いらっしやいました



こちらは
ブルーレット家令嬢
ミリム様です
透視神託の儀の
第2部で予約を…

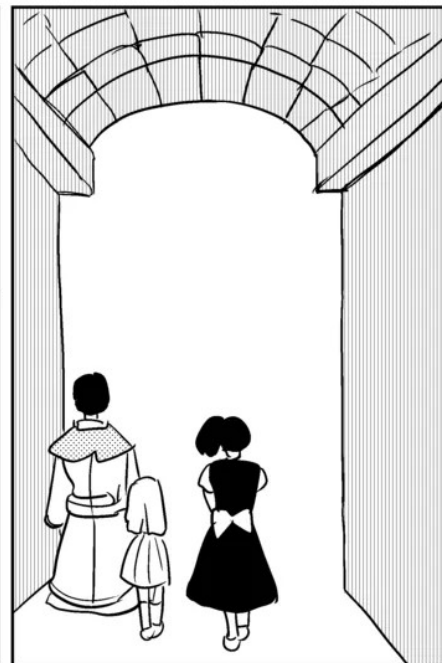


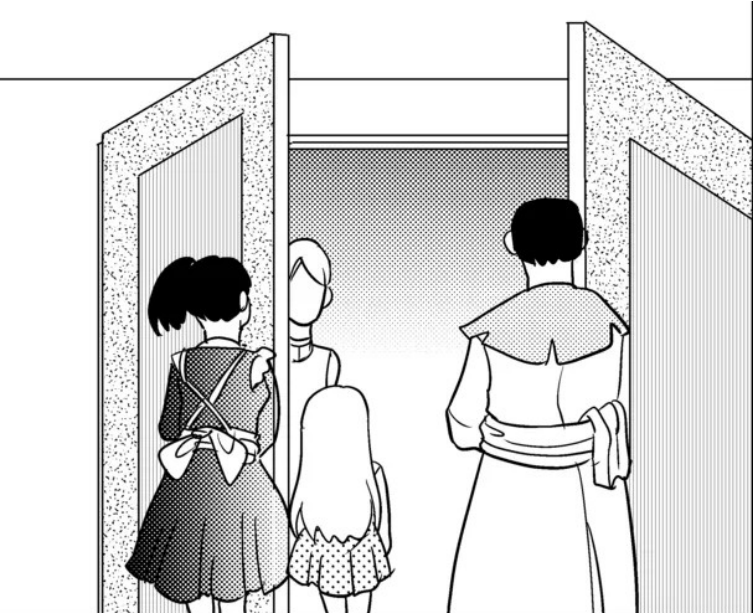
ブルーレット様
神殿までご足労
感謝いたします
聖堂まで私が
ご案内いたします

神殿か…
以前ヨーロッパ
行ったときに
ノートルダム
大聖堂は見たが
あれとは
違うんだな

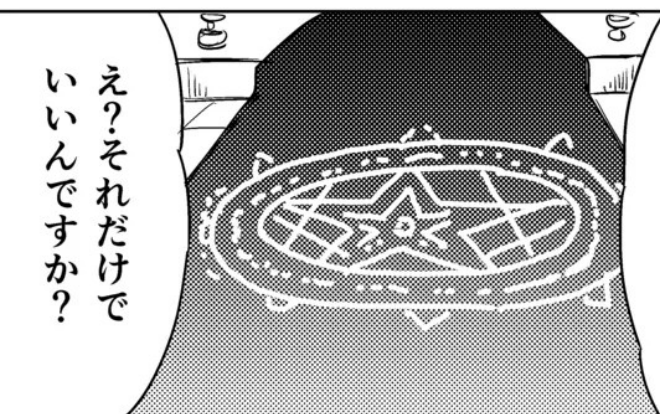


ゴテゴテしてなくて
質実剛健という感じが
まあこういう方が好きだが





難しい顔して
どうかされましたか？



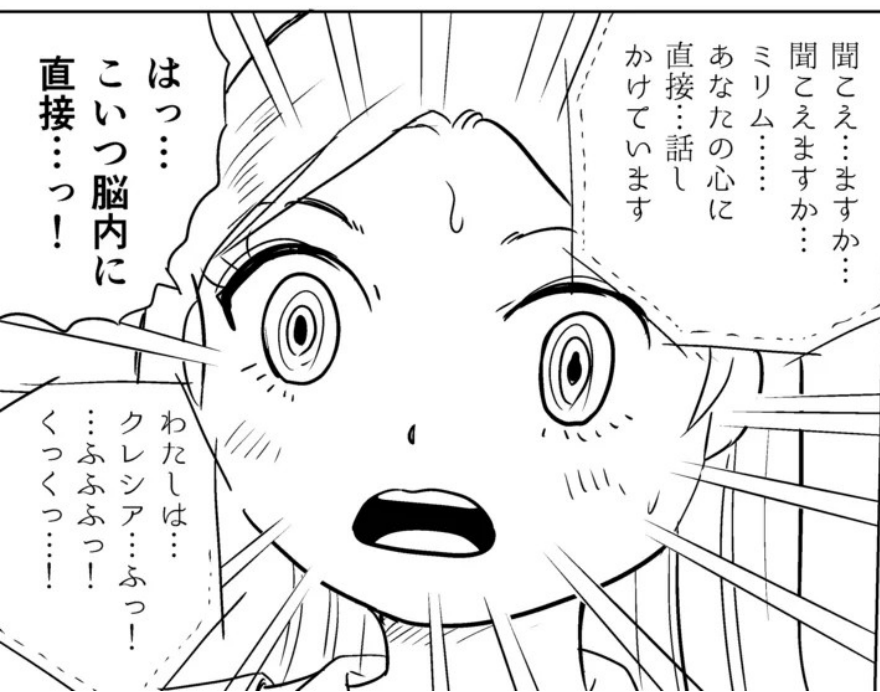
え？それだけで
いいんですか？

その陣の上で
クレシア様の像に
語り掛けてください
神託がございます



え、クレシア様
聞こえますか…

なんかもつと
仰々しい
儀式とか
あるかと
思ったけど



はっ…
こいつ脳内に
直接…っ！

わたしは…
クレシア…ふっ！
…ふふふっ！
くっくっ…！

聞こえ…ますか…
聞こえますか…
ミリム…
あなたの心に
直接…話し
かけています



なんなの…お前っ！
魂がニコイチやん…
っーかおっさんやん！
えっ…マジで？
おしっこ？飲むの？
性癖やばすぎない？

ウケる！ヤバ！
これはもうSSR
あげるしか
ないっしょ！



ふふふ…
えーごほん！

お前の職業は
「聖女」だ
この世界を
変える力をやる

あと…「ステータス」を
おまけにつけてやろう
つか魂がブレブレだな…
困ってただろ？治しておくぞ

じゃあな！

ミリム様っ！
大丈夫
ですか！

ガチャ

女神クレシアの降臨に
神殿内は大騒ぎとなった

はやく
大司教様を
呼べ！

それで神託は
なんだったんだ？

どうやら
「聖女」らしい
ほら…小便姫…

ああ…アレか
助かるなこりゃあ！

えっ本当か？
マジで？何年ぶり？

この世界にはマナと呼ばれる
エネルギーが満ち溢れている

人間に限らず生物は
マナを取り込み
マナを排出して
生きているのだが：

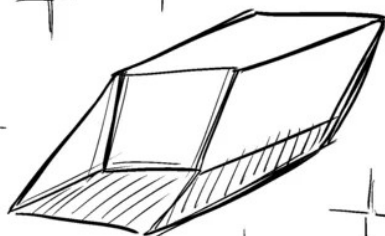
まれにマナの排出ができない
個体が生まれることがある

それが人間であれば
幼少の時にほぼ亡くなって
しまうのだが
動物の中には
凶暴化しながらも
生き延びるものがある

それが
「魔物」だ

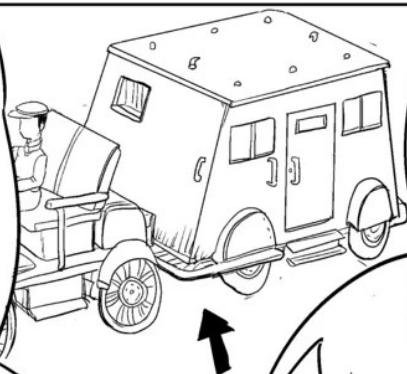
もう〜でたよ
ファンタジー
世界〜！

魔物の体内には
「魔石」と呼ばれる
マナの塊がある
探索者たちが
狩りで得た
それは金銭で
取引されている



魔術士によって
錬成することで
さまざまな
魔動機械の
エネルギーと
なるためだ

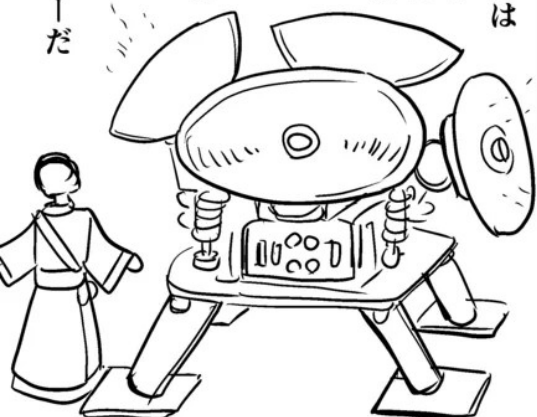
魔法科学っぽくなってきた：
まあここ来るのに自動車
乗って来たしな：



しかし年々技術の
進歩と需要の拡大に
よって魔動機の数
は増大の一途をたどる

そのため魔石供給では
エネルギーが足りず
技術発展が頭打ちに
なってしまっていた

そこで長年かけて
発明されたのが
拡散マナアブソーバーだ



これは空中のマナを
収集しマナパックに
充電する魔機だ

1台で魔石還元より
5倍ほどの効率化を
果たしている

それは
すごい
革命ですね

さらに50年前に
ある少女が初めて
「聖女」の神託を
受けてから
状況が変わった

他国では数例あったのだが
この国では初めてのことだった

その「聖女」のスキルの
説明のため神殿にて
調べたところ
常人の数千倍の
マナを常時体内に
取り込んでいた

え…それではすぐに
死んでしまうのでは？

聖女から排出される
液体すべてに
超高濃度のマナが
含まれていることが
わかったのだ

ん？液体？
汗とか唾液…
おしっことか
ですか？

察しのいいガキは
好きだよ…

ライム、アメリカ
尿検査の準備を

え？

その後さらに調査が進み
ある事実が明らかになる

わがしっ

なにをしているのですか？

君のマナ濃縮量が先代と比べ
どのくらいか知りたいからな
検査をしなければならぬだろう？

い…いや話はわかるけど
こんな人前でやることじゃ
ないでしょう！

え？
ちよつと

ちよつと！
イレエヌ
見てないで
助けて！

神殿の業務
ですから
私はなんにも
申せません…！

明確な規則があるのだよ
「2人以上の資格を持つものが
陰部より排泄せしものを
目視して聖具により受け
止めること」と

貴重なマナ原液の
着服や勝手な希釈化を
防ぐための決まりである…
まあいいからさっさと出せ！

うっ…臭いです
ミリム様ちゃんと
洗ってます？

くっ…ミリムの
記憶があるから
恥ずかしい…
けど…

前世であれだけ
スカトロ風俗に
行っていた「オレ」が
拒否しきれない！

あっ
出るっ…

おしっこおお！
でりゆうっ！（棒読み



僥倖…これは僥倖！
さらなる技術革新の
可能性を秘めている…
他の分泌物もすべて
徹底的に調べる
必要があるな

えっ？なんか
実験動物ルート
一直線なセリフ
言ってるんだけど？

え？そうだが？
他の国の聖女も
そんな感じで暮らして
いると聞くのだが？

そこは否定して
ください！

あれ…待って
他の国の聖女？
おられるの
でしたか？

ああ…クリネクス帝国
スコッティ公国や
クレシア総本山の
エルモア神聖国にも
聖女は何人かいる

この国にもいるが
そのマナの効能は
個人差があつてな
いまだ研究中だ

わ…私も
その研究に
参加したいです！

参加？いやミリム嬢が
一般的な貴族としての
教育を受けているのは
わかるがそういう方面での
知識は役に立たんぞ？

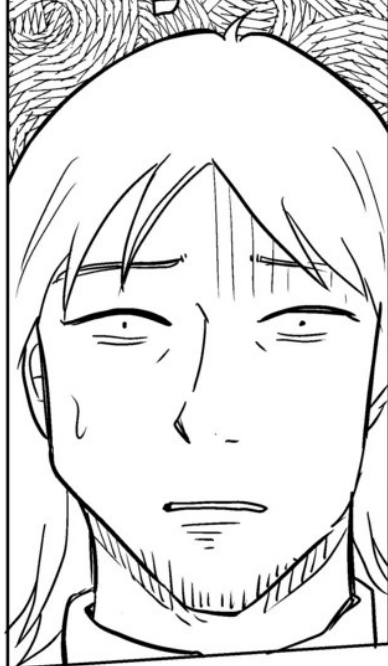
社交とかマナーとか
淑女としての作法とか
全然関係ないからな

あ…そうですね
ちよつと興味があるというか
あれなんですけどぶっちゃけ
言うんですけどね…

他の聖女さんのおしっこにすごく興味があります！



あれ…？
もしかしたら
この聖女すこし
おかしいのでは…？

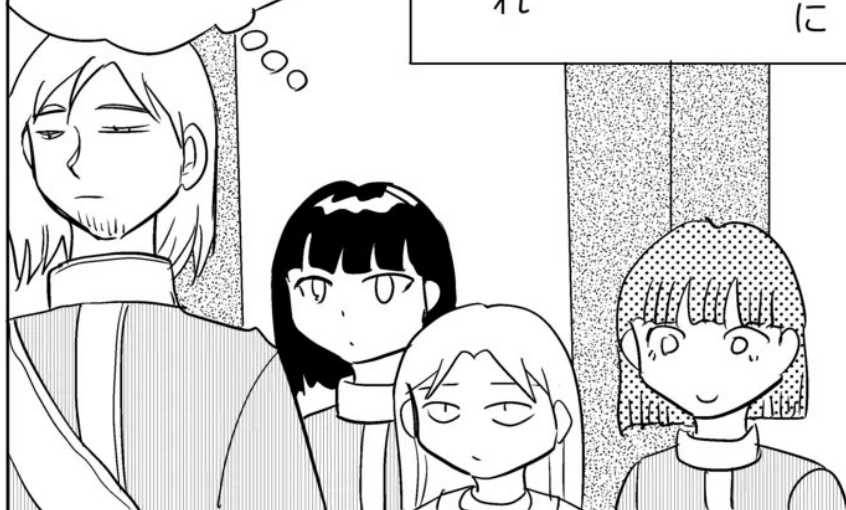


ミリムが「聖女」
なったことは
すぐさま
ブルーレット家に
伝えられた

一日中おしっこを
回収するため聖女は
神殿で暮らすことになる

末の娘を取られることに
難色を示した伯爵で
あったが神殿より
多額の給金が毎月
支払われると聞くと
手のひらクルリした
(イレレーヌは任を解かれ
屋敷に戻った)

親子といえども
金の切れ目が
縁の切れ目とは
せちがらい…



こちらが君の部屋となる
それと2人が側使えとなって
働くので必要なものは
言うように

聖女としての業務などは
明日から教えていく
ではまた

わかりました
ありがとうございます
ございます

…さて
改めまして
ミリム様

わたしたちが
側使えを
担当させて
いただきます

聖女付き
神官補佐の
ライムと
申します

同じく
巫女補佐の
アメリカです
よろしく
お願いします

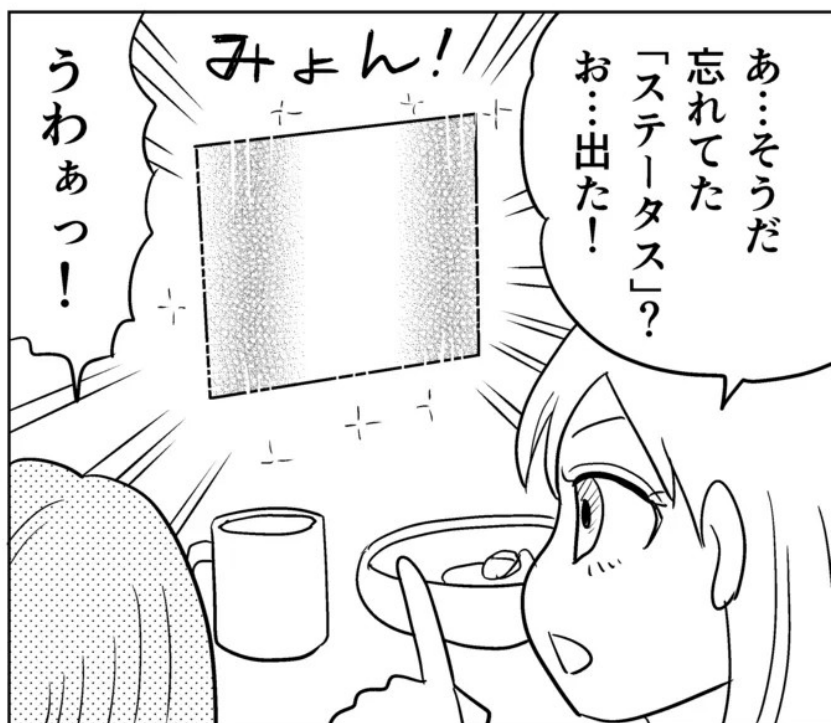
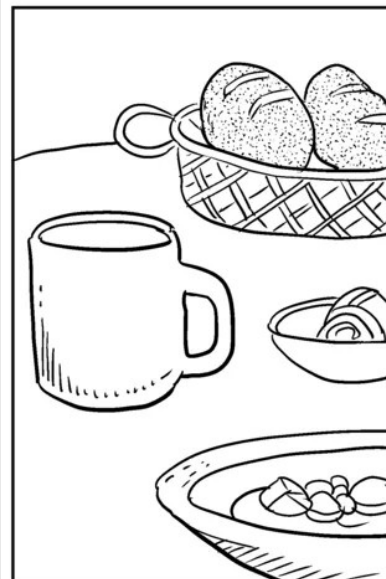
ありがとう
ふたりとも
よろしくね

さて…さっそく
必要なものだけど
…お腹が空いたわ

あっそうですね
ご用意します

お部屋に
お持ちしますか？
それとも食堂へ
行かれますか？

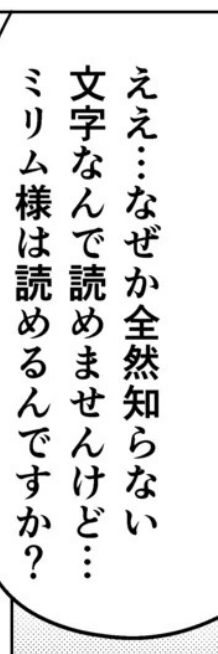
あゝ
ちよっと考え事
したいから部屋に
お願いしますわ

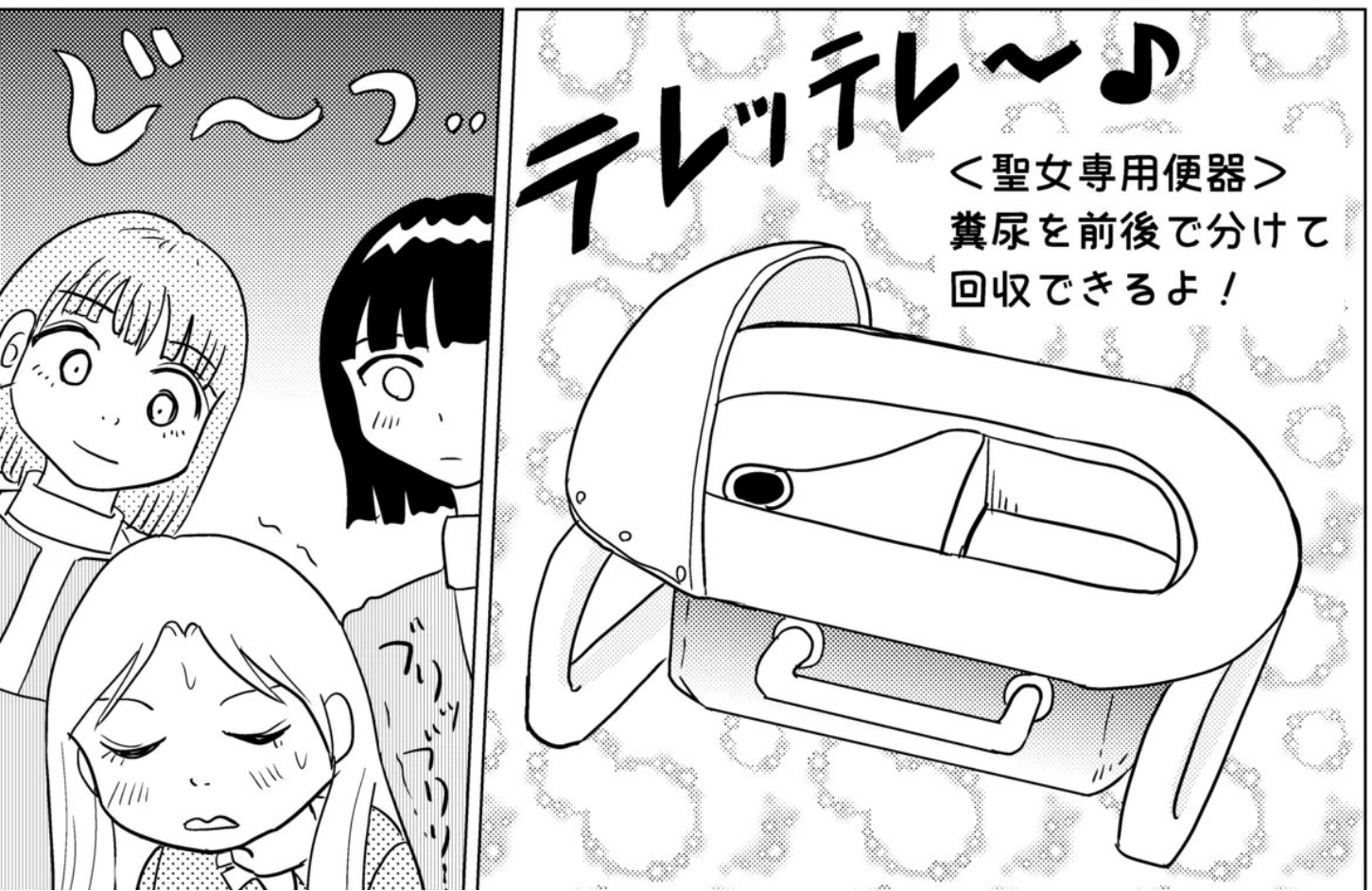


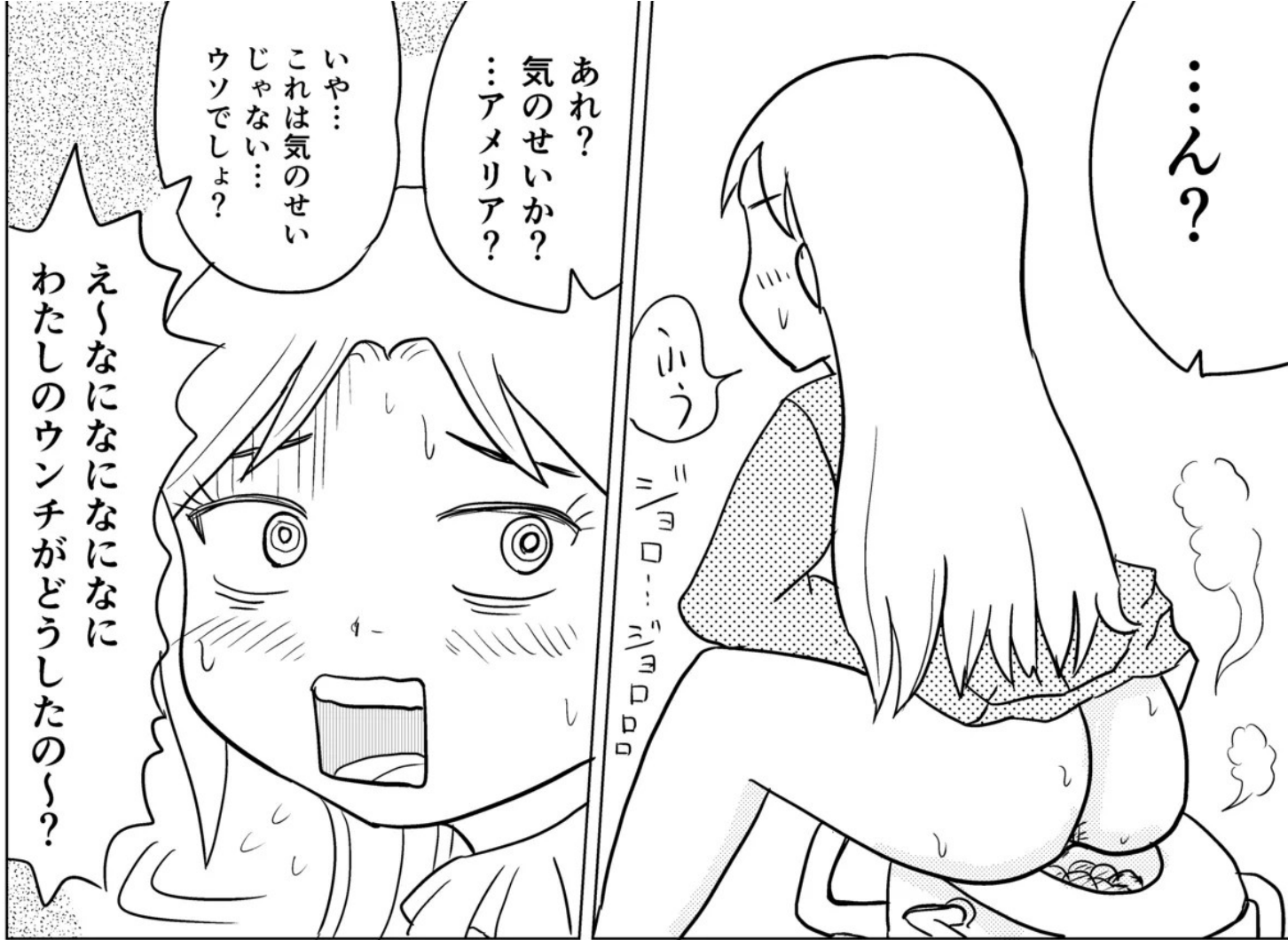
…わたしは読めるわね
たぶん聖女の能力なんじゃ
ないかしら(すつとぼけ)

名前：	ミリム・ブルーレット
性別：	女
年齢：	10(+40)
職業：	聖女(改)
レベル	1
HP：	8/8
MP：	0/0
攻撃力	1
防御力	0
スキル：	
	ステータスボード
	マナ感知
	マナ付与(活性)

MENU









ぎゃあああ
ああああ！
まぶしくて
目があああ
つぶれ
たあああ！

なに
やって
いるん
ですか

ゴゴゴ



実家だと
小さなバスタブ
しかないし王都の
公共浴場も
行かせてくれ
なかったので
嬉しいです

うわああ
大浴場があるなんて
最高ですね！



貴族の子女を
公共浴場に行かせる
わけない
ですよ

あれ
タイムは？



子どものミリム様は
いいかもですが
わたしがイヤです！

別にわたしは
構わないけど…

いやふつう男性とは
一緒に入りませんよ！

その「イヤ」ってのはさ…
恥ずかしいからだよね？

え？はい
それは
そうですよ

年ごろの
女性であれば
当たり前ですよ

ほほう

じゃあさく
わたし今日
強制的になにを
やらされたか
覚えてる？

あ…

そうだよ
そうだよ

大司教様の前で
おしっこして
2人の前で
ウンチして…
乙女には到底
耐えられない
出来事でしたよ？

※本人はむしろ露出の
快感に目覚めていました

だからさく
アメリカも
お互いを
さらけ出す
意味でさ

そこで

おしっこ…
してみてください？

え？
ちよつ…

し・ろ・よ

EEEE

わ…わかり
ましたあゝ

ちよほ
ほ…ほ

おおゝ！
アメリカの
おしっこ
初観戦やゝ！
めっちゃ
シヨンベンくさー

あ…マナ
感知して
みるか

ってオレなんで
こんな冷静に
処女マンコ&
放尿プレイを
見ていられる
んだろうか…？

あっ…！

いやでも
人が分泌する
体液はほかに
大量にある
それなら
どうだろう？

そうか…
普通の人間だと
こんなものか
目はつぶれ
ませんかあ…

うーん…？
光ってる…のかな？

付いてないから
ですねえ……

ミリム様
ほらおしっこ
しましたよ！
恥ずかし〜！
これで
満足いたし
ましたか！？

え？どういう感情？

帝国との戦争に
聖女を？
バカな
彼女はまだ
女兒ですよ！

はあ……なるほどあの
辺境伯が言いそうな
ことですね

ふむ……まあたしかに
彼女のマナならば
異界召喚陣は使用
可能でしょうね

はい……
そうです

おしっこレベルですら
あのマナ濃度ですから……

「勇者」を呼べる
かもしれません

◆世界

エリエール王国、王都ネピア。
位置的にはポルトガル&スペインあたりの感じ。
西と南は海。西海の先は未知。南は別大陸だが交流はない。
北はクリネクス帝国。
東はエルモア神聖国とスコッティ公国。
文明度 17世紀～19世紀前半

宗教は大陸の7割が信仰している女神クレシア教
クレシアは実際に存在し、人間にスキルや加護を与える。
10歳の誕生日に教会で付与される。

◆政治

中央集権制。王は存在するが、議会がある。
平民議員と貴族議員がある。
議員は定員があり、任期がある。
任期を満了すると議員の投票によって次の議員が決定する。
ただし、王によって推薦される議員の定数がある。
王家は血統によって保持されている。
男女問わず王となれる。長子が優先されるわけではなく
王の指名と議員の一定数の支持によって決定する。

貴族階級はあるが、圧倒的支配者ではない。
少なくとも平民の顔色を伺う必要はある。

◆マナについて

この世界で電気のように使われるエネルギー。
空中に満ちており、時間経過によって生物の体内に溜まるが、一定の量を超えると尿や汗などとともに排泄される。
動物の中にはマナを排泄できない異常個体があり、それらはいずれ狂い凶暴化する。それを魔物と呼んでいる。
魔物はマナ乾電池とも言える魔石を体内に有している。
魔石は国管理の組織により買取を行っているため、それを目的に魔物退治を職業としている人々もいる。
人間の中にもマナを排泄できない個体がいる。
吸収の度合いによっても異なるが、ほぼすべて幼少期に夭折する。
そうならなかったなら…物語の重要な役割を担うだろう。

「聖女」はめちゃくちゃな量のマナを吸収し、めちゃくちゃ排泄し続けるという特異な存在。

ソーラーパネルのような魔道具により空中のマナを回収する施設が各所にある。太陽光発電所のようなもの。
回収されたマナはマナ乾電池、一般には「バック」と呼ばれる魔道具に充電され、二次利用される。
バックを接続することによって高熱を発生する機械や、回転運動をもたらすモーターが存在する。

マナは10m程度までであれば有線で伝達できる。
そのため各家庭にはバックをセットして発電機としての役目を果たす機械があり、照明に利用される。

◆インフラ・文化

基本徒歩。馬車が一般的。
乗合馬車は安価。魔導車は個人で所有している者は上層階級に限られる。
王都にはレールを走る環状魔導車(実験運用)があり、都民の移動の足になっている。

中心には王城があり、霞が関や永田町がある。
周囲を貴族や公務員の住居が占める。
さらに外側に商業施設と住宅地が広がる。
野外に魔物はいるが、定期的な討伐により大きな街に入ることはまれ。
小規模な集落であれば柵を作る。
都市には公衆浴場があり、入浴の習慣が普通。
大都市であれば小学校に相当する学校があるが、義務教育ではない。
学費もかかるためある程度の収入が無いと通わせることはできない。
そのため子どものころから店の手伝いなどで労働をすることになる。
ただし女神の神託によっては大逆転もあり。

高等教育は別にあるが、上層階級のモノ。
識字率は職業により異なる。
金属活字による印刷機はあり、本や新聞は流通している。
写真技術はまだない。

大都市には上水道はあるが(井戸もある)、下水道はあまり普及していない。
あふれた汚物を回収して川に捨てる仕事があったりする。
ヤバイ。疫病が一定時期に起こり、問題となっている。

(以下、まだつづく)

おまけ
コーナー

この世界について
いろいろ設定した
ので一部公開

ネタバレ
多くない？

どうも、作者のりかやです。
というわけで新シリーズ開幕です。

表紙で着てるのに
まだ出番がなかった聖女服
デザイン変えるかも

「女子小」「没落令嬢」と現代劇が続きましたので
中世ファンタジー世界を描きたくなりました。
まあ中世というより産業革命寸前くらいの文化ですが。

主人公もただのおっさんではなく「医師」です。
明確なスキルを持っている人間です。
その職業が生かせるストーリー展開になります。
まあ変態ですが。これからも変態です。

今回の話ではページの都合上あまり彼の内心は
描けませんでしたが次話以降、ミリム・徳田の
活躍にご期待ください。活躍する…たぶん。

私は「なろう」に代表されるネット小説などを
毎日習慣で読んでいるのですが「こういうのが
読みたいのに！」という思いを今作にぶつけて
いきたいと思います。

あと今作はR 1 8になっていますが、話の展開上
性器を描くことが多いのでそうなるため
ガチエロ漫画という感じにはなりませんので…。

では次作でお会いしましょう。

T S聖女ちゃんは
おしっこで世界を革命する 1

2024年5月発行
サークル まのすた
simihamu@nifty.com
X manosuta_rikaya
pixiv 3876611
印刷 サンライズ



